

2012年4月17日

浜松市長 鈴木康友様

いつも市民のことを考えた市政運営をして下さりありがとうございます。

私たちは、福島原発事故を契機に、エネルギーの供給・使用のあり方を変える活動をしている市民グループです。岐阜の一人の農家さんの声かけに始まり、西は兵庫、東は茨城まで約200名が活動しています。静岡のグループは、子育て中の母親を中心に、幅広い年齢層が活動しています。

夏のピーク時は、消費電力の70%が自治体を含む産業用途で使われています。太陽光や再生可能エネルギーに切替えるには、時間もコストもかかりますが、節電器具を導入するだけで15%を楽に節電できるのです。また、節電は経費削減(=節税)にもつながります。

まずは、各自治体がどのような節電対策を行っているかのアンケート調査を静岡県で行い、現状を把握しました。35自治体のうち、回答していただいたのが32自治体です(91.4%)。調査結果は、別紙「節電・電力切り替え・再生可能エネルギー導入に関するアンケート調査結果」をご覧ください。

浜松市は、市役所内の電灯を、高効率蛍光灯への切り替え(一部)、また独立系電力会社から電力を購入されるなど、積極的に節電に取り組まれており、市民としてとても嬉しく思います。

私たち市民は、浜松市とともに市全体で節電に取り組みたいと思っており、以下提案いたします。

- ・節電について学ぶための節電セミナーを、浜松市、企業、市民と協働実施
- ・社会全体が節電に無理なく取り組めるようにするための制度の策定(補助金など)
- ・浜松市が「行政、企業、市民が協働で節電を行うモデルケース」となり、静岡県内の市町に対し情報発信

また、このアンケート調査結果は、後日静岡県とアンケートに答えて下さった静岡県内の市・町にも届ける予定です。

私たち市民は、行政とともにエネルギーについて学び、省エネルギー・省電力型社会を作って行きたいと思えます。

何卒よろしくお願い申し上げます。

電気をカエル計画静岡 代表 川嶋弘美
浜松市在住

<http://www.ekaeru.jp/>

(*実際に浜松市に渡した要望書には住所と電話番号は明記しています)